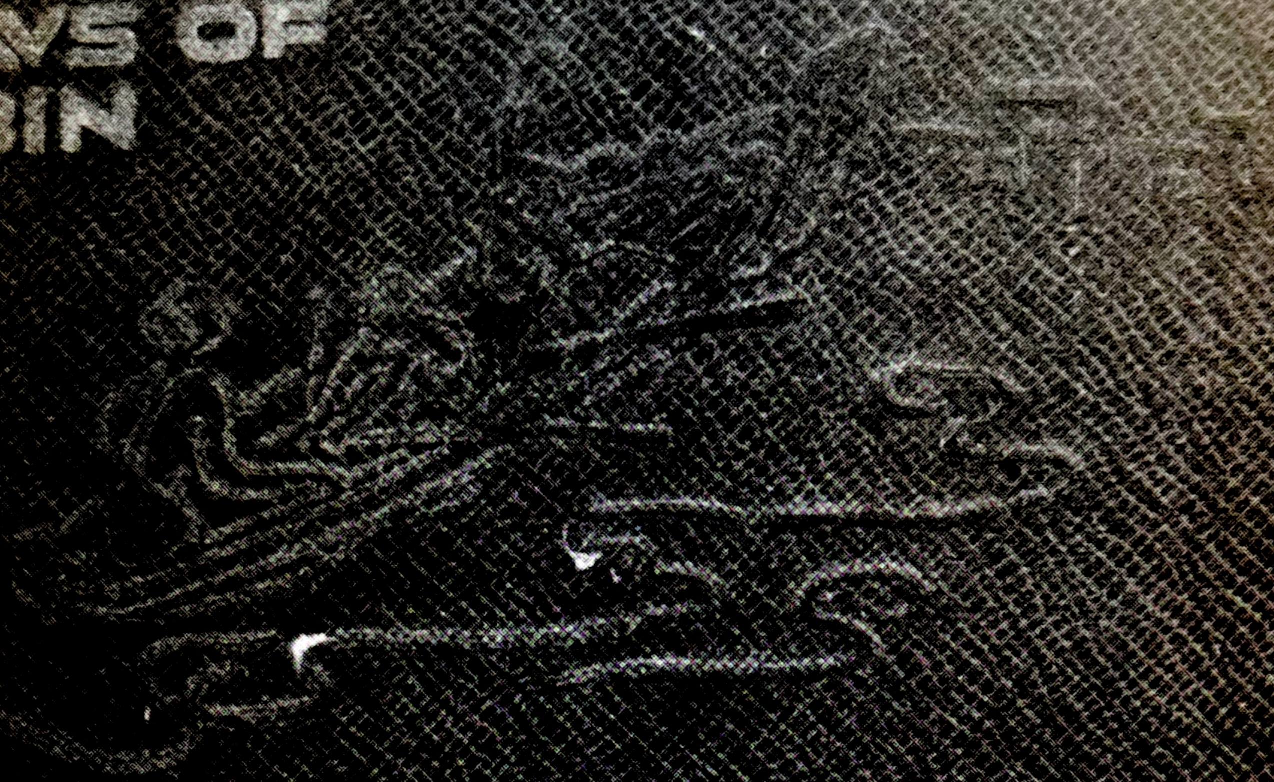
VIEWS OF HARBIN



哈爾濱寫眞帖

SIGHT SEEING OF HARBIN

觀光の哈爾濱

はしがき

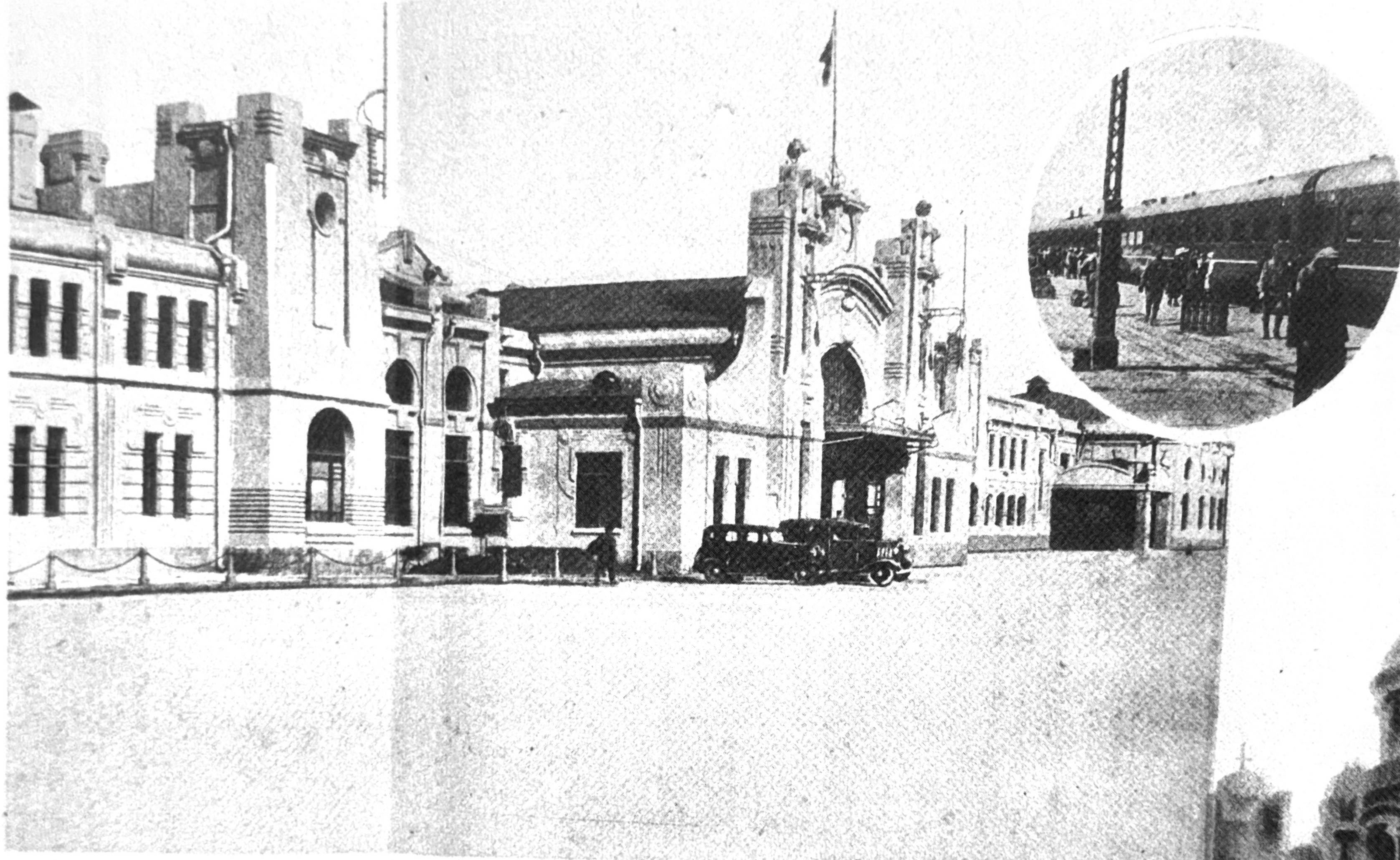
哈爾濱の名稱は低平を意味する滿洲語から生じたと言はれてゐる。以前は哈爾濱、濱江、ハルピン、ハルピン等と書かれてゐたが、康德元年哈爾濱特別市と正式に呼ぶに決定した。

甞て滿洲國成立前は、妖雲漂ふ陰慘なりしこの都も、こゝに王道樂土の建設成り、惠光普く全滿を照すに及んで、全民衆の歡喜とともに淸新明朗の氣は全市にみちあふれ、やがて民衆の歡びは協力一致の團結となり、ひいて產業に、財政に、交通に日一日と目覺ましい進展を示すに至り、今や大都哈爾濱は名實共に全滿洲の重心となつた。

現在人口五十萬を擁し、北滿洲の政治、經濟、文化の中心をなし、殊に交通上に於てはかの北鐵接收以後、從來より更に一層の重要性を加ふるにいたつてゐる。かくの如く、現在では『北滿の心臓』とまで言はれる哈爾濱もその昔をたづぬれば東支鐵道の建設によつてはじめて北滿の草原に孤々の聲をあげたもので、爾來僅かの年齒をもつてして斯く一大躍進をなしたことは眞に驚異的發展と言はざるを得ない。

哈爾濱の市街を大別すると、新市街、舊市街、馬家溝、傅家甸、埠頭區、八區、ナハロフカの七區となる。從來これ等の行政は北滿特別區の管掌するところであつたが、大同二年特別區より脫し、哈爾濱特別市公署の管轄するところとなり、自治委員會を設け、直接政府の監督を受ける自治市となり、同時にその區域も擴大されて、こゝに再び新しき躍進を目指して大規模なる新都市計劃が樹立された。この事業は既に大同二年より着手されてゐる。

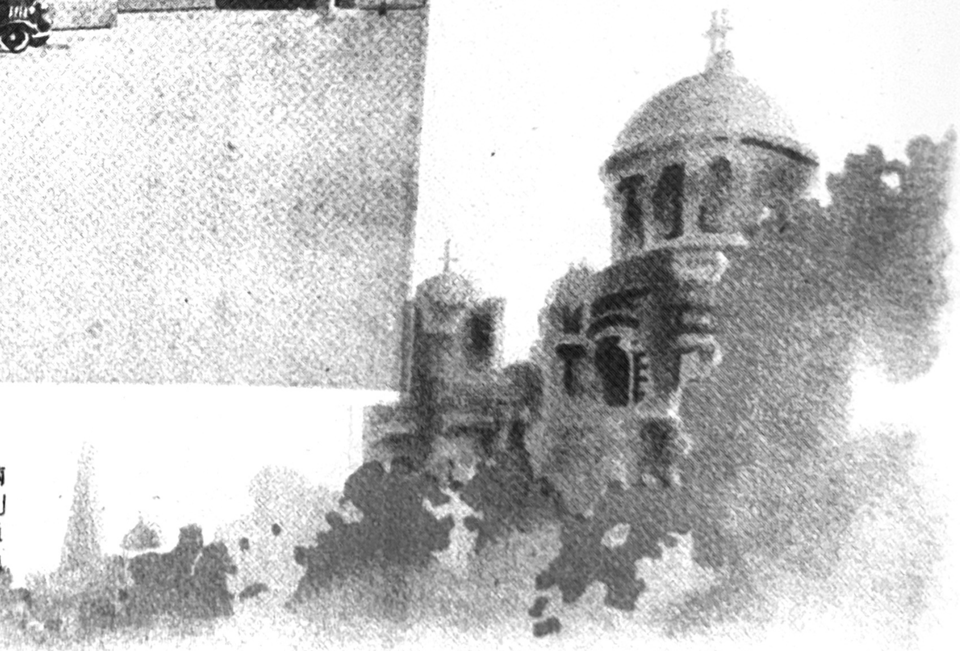
哈爾濱は「ハルピン秘話」「ハルピン夜話」等と言はれて享樂都市として其の名を知られてゐた都だけに、今でも多分に異國情緒の匂ひがあり、この地を訪れるものに深い印象を與へてゐる。名所及び遊覽地としては、先づ第一にスリンガーをあげねばならない。冬の氷原スリンガーの味はひも格別であるが、夏のスリンガーはまた一入で、江岸の漫步、江上のボート、或は水浴に、或は憩ひに、實にその味はひは千金萬金をもつてしても購ひ難いものがある。其の他公園、市場、競馬場、極樂寺文廟、ロシヤ寺院等々訪ぬべき所多く、また劇場、キネマ館、料理店、喫茶店、キャバレー、カフェー、ダンスホール等娛樂機關も完備してをり、遠來の客の足を停めて飽かしめない。

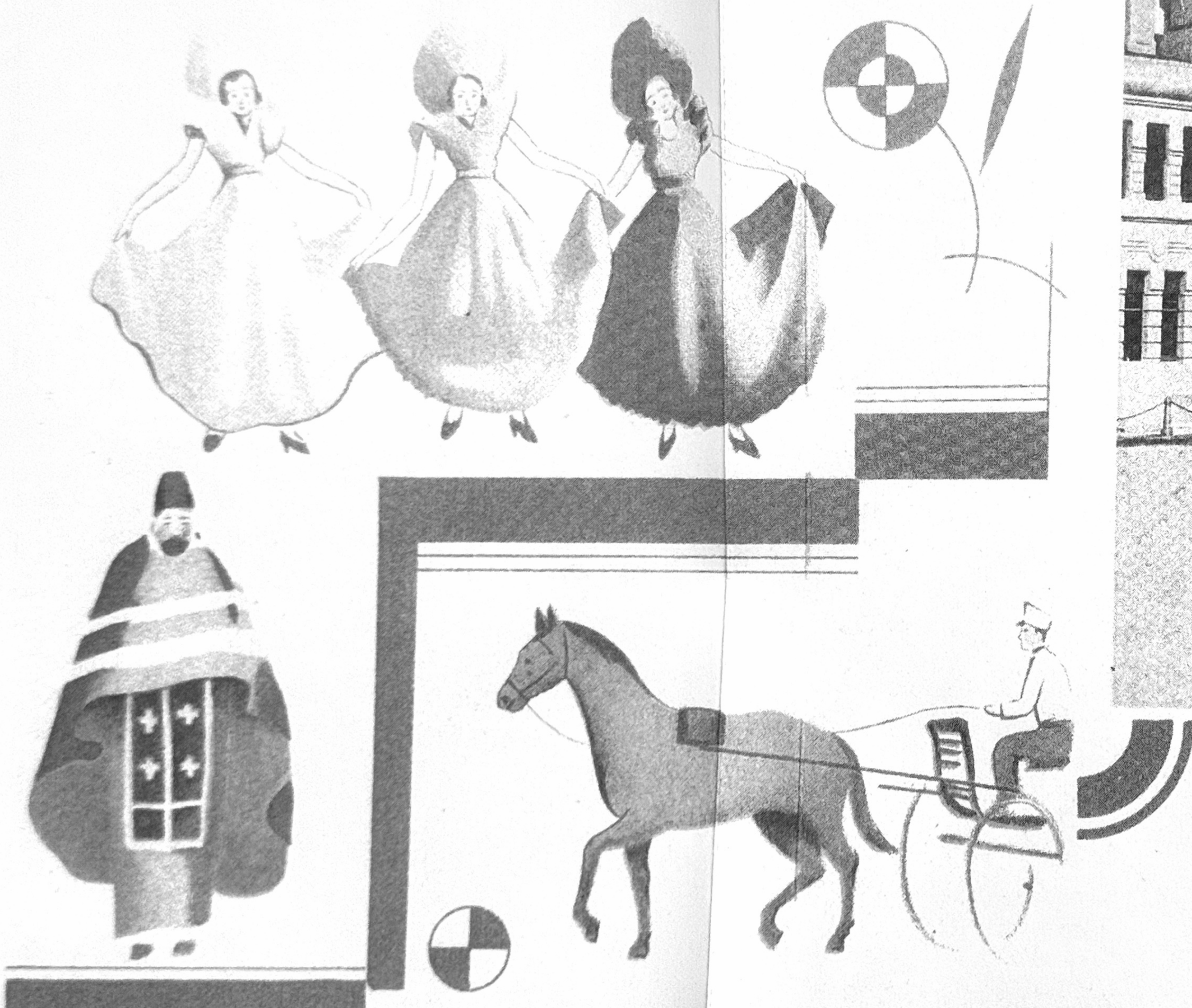


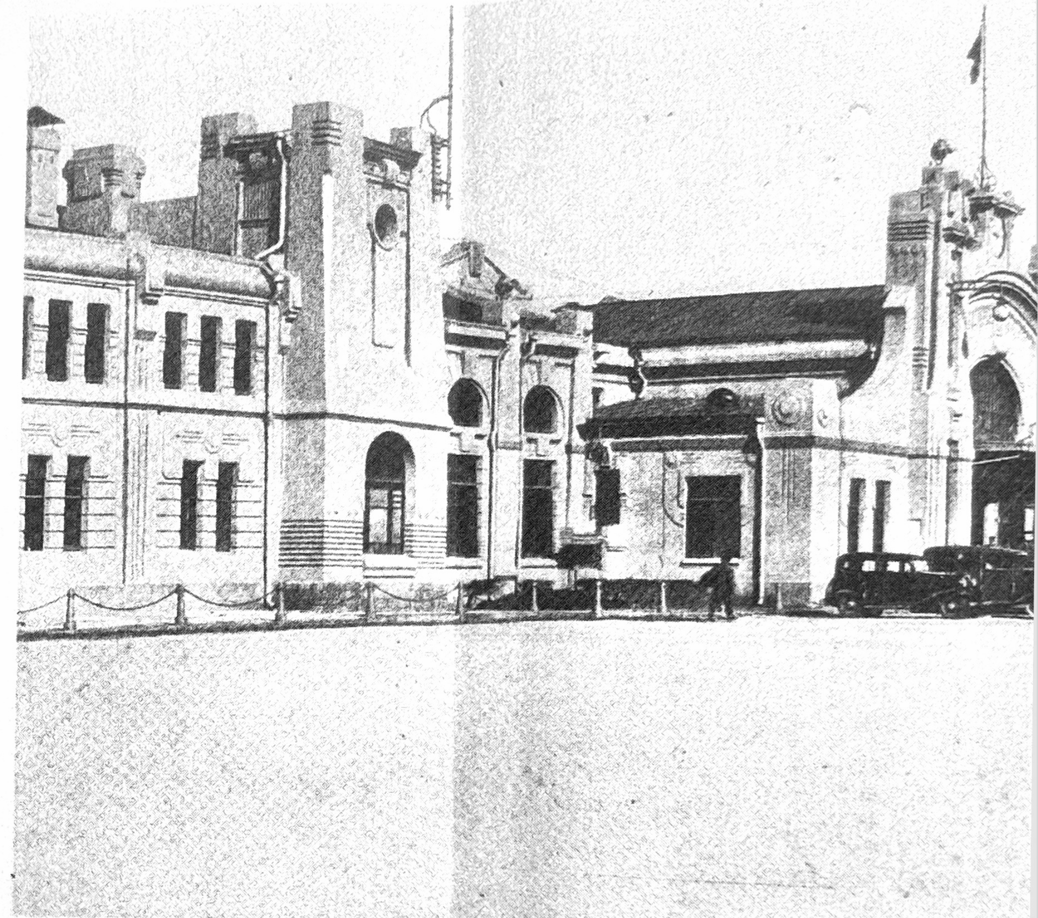


哈爾濱驛

滿洲國の交通史上に．特筆記念すべきはかの北鐵接收と・流線型「アジア」號の開通である。今や哈爾濱驛は最も重要性をもつた交通の要衝として北滿の地に君臨する。この驛は伊藤博文公遭難の地であるとは人の知ることろで．ホームには遭難標識がある。







哈爾濱驛

滿洲國の交通史上に．特筆記念すべきはかの北鐵接收と．流線型アジア」號の開通である。今や哈爾濱驛は最も重要性をもつた交通の要衝として北滿の地に君臨する。この驛は伊藤博文公遭難の地であるとは人の知るところで．ホームには遭難標識がある。

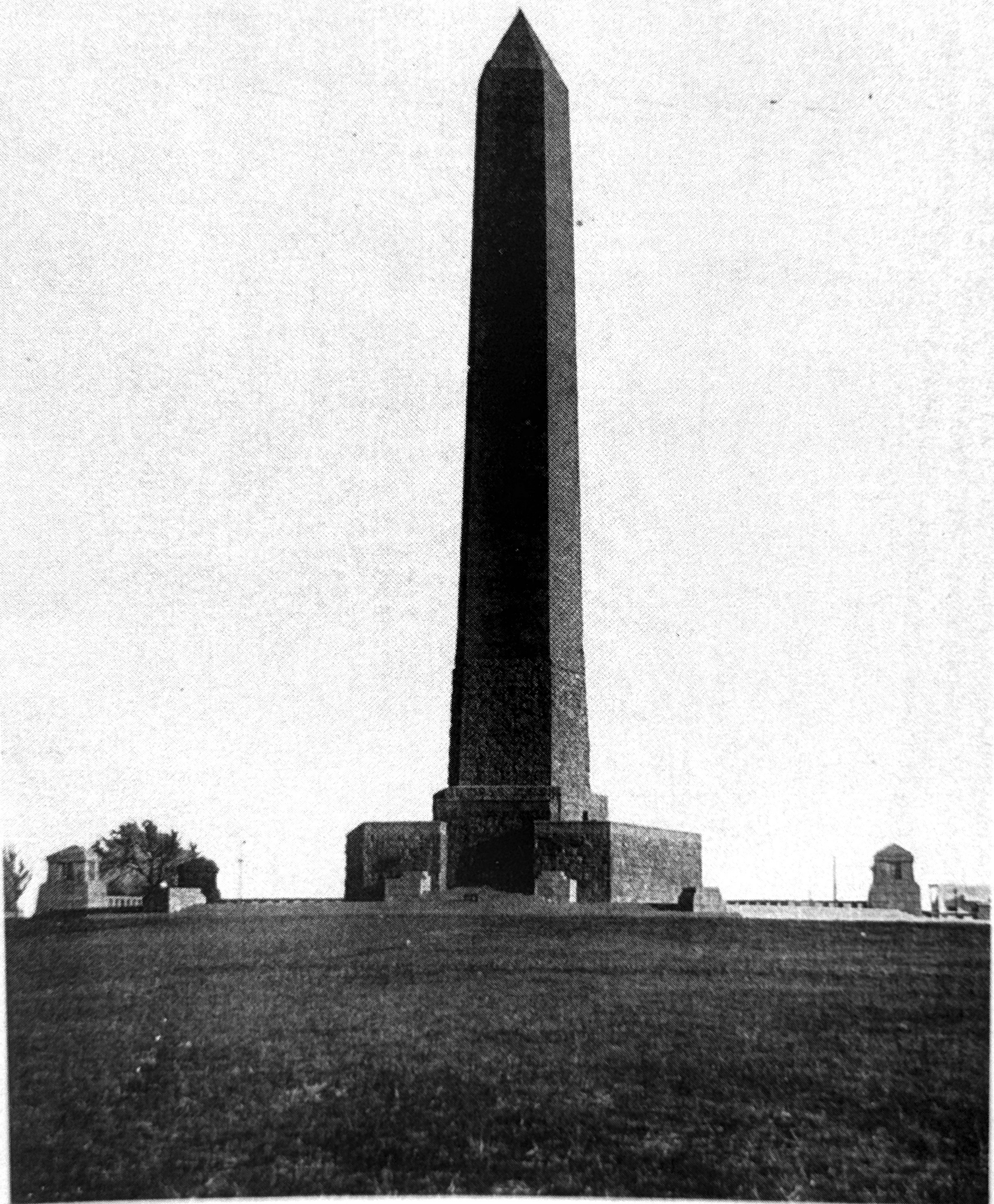
目次



(1)

哈爾濱神社

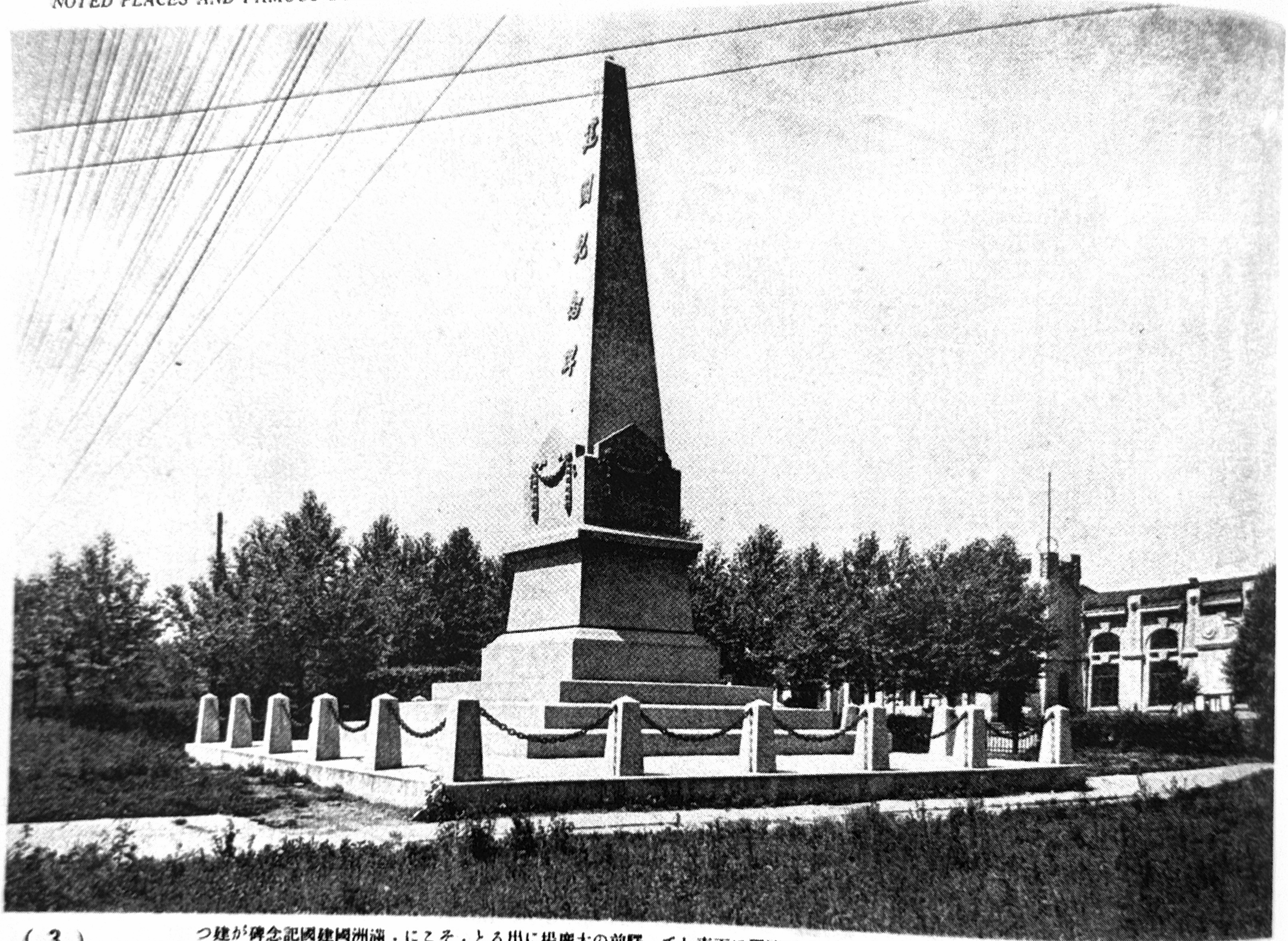
黎光漂ひ．神風流れ．神威溢る塵外の御社境。大陸北滿哈爾濱の地を鎭めて．嚴かに座します哈爾濱神社。御社前に額突いて．柏手うつ人の虔しい姿は朝な夕なに絶え間もない。



（２）

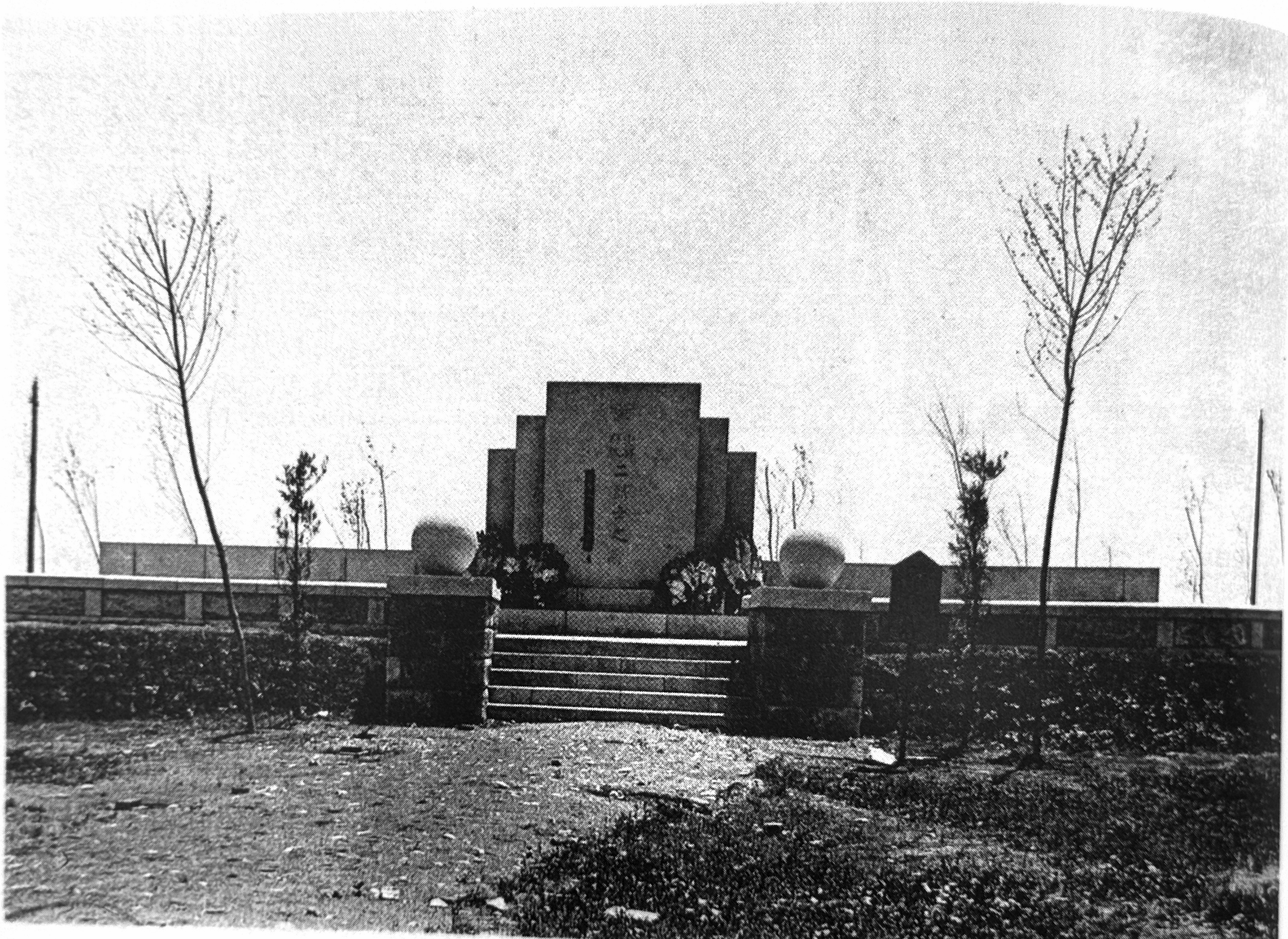
忠靈塔

哈爾濱の西南郊外に大陸の空を衝いて聳え立つは忠靈塔である。過ぐる滿洲事變に，御國の爲と散つた日本軍將兵の英靈を弔ひ，その忠烈なる勳を永遠に顯彰してこゝに建立されたものである。



哈爾濱驛に下車して・驛前の大廣場に出ると・そこに・滿洲國建國記念碑が建つてゐる。邊りは車馬が織り成すやうに輻輳し大都市の光澤が生々しい。

建國記念碑



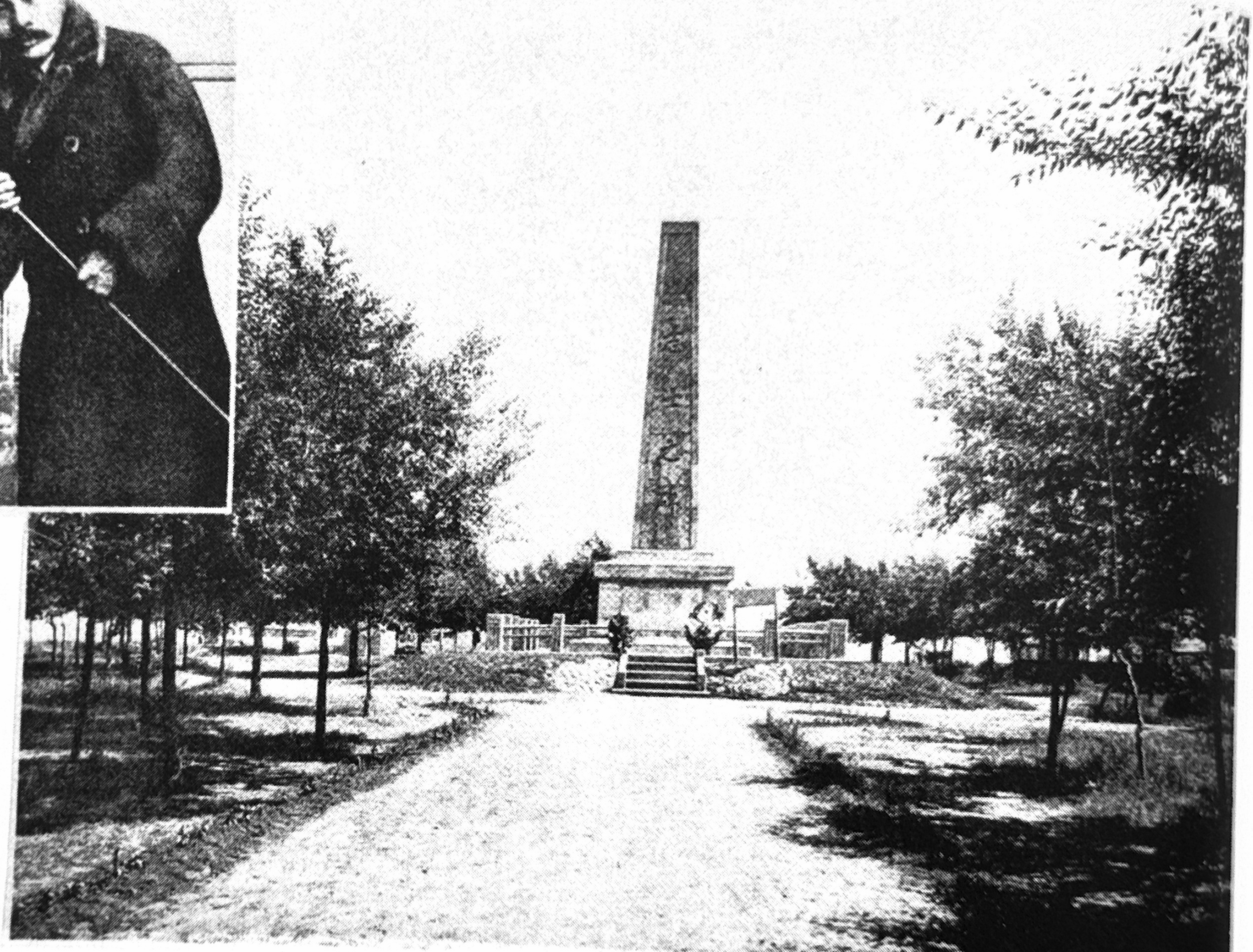
二烈士の碑

哈爾濱郊外に建つ忠靈塔．志士の碑附近に．小林．向後二烈士の碑も建てられてゐる。兩氏は明治三十七八年戰役當時軍事探偵として活躍せる人で．遂にこの地で壯烈護國の華と散つたのであるっ 寫眞が．二烈士の英靈を永遠に弔つて建設せられたる碑。



兩志士の面影

寫眞は、六烈士の一人
右沖氏、左横川氏。



志士の碑

濱綏線に沿ふ病院街の近く・廣花千里の平原に厳然として聳え立つは志士の碑である。日露戦争當時、嫩江鐵橋爆破の重命を帶びて事成らず・こゝに露と消えたる六烈士の靈を祀る。



キタイスカヤ街は哈爾濱の銀座とも稱せらるる所で・街にはモデルンホテル・秋林百貨店・松浦商會等の宏壯な建物が櫛比し・附近一帶整然としてまことに麗しい都合美を粧してゐる。

キタイスカヤ附近



(7)

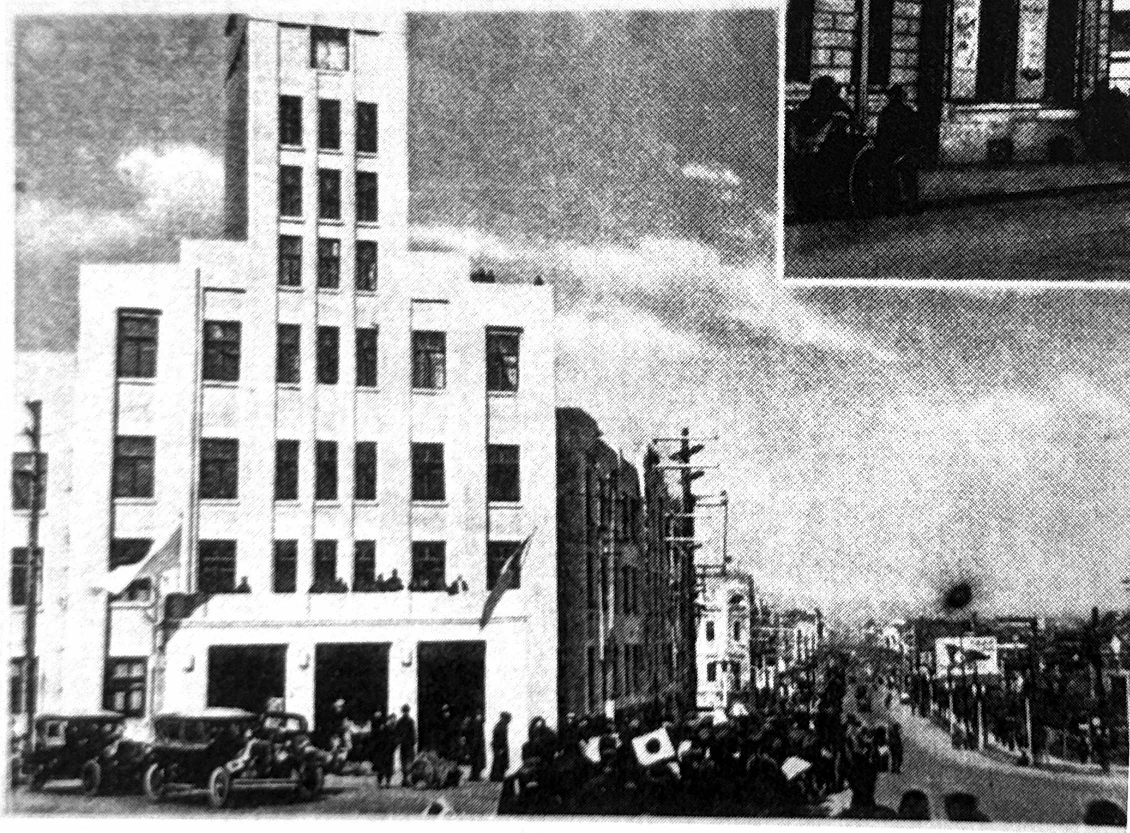
中央寺院

中央寺院は新市街にあり．在北鐵從業員の寄附によつて建立せられたもので．古代ギリシヤの寺院建築を模した様式になる。露西亞人は．この寺院を單にサボールと言つてゐる。繪の中央白壁の大建築物は博物館。



地段街を望む

地段街はモストワヤ街．賣買街とともに日本人商舗が多く建ち並び繁華繁榮をなしてゐる殷賑街である。繪は弘報會館前より同街を望んだ景観。



街頭を飾つて

モストワヤ街は現名を（石頭道街）と呼ぶ。こゝは日本人の大商店が軒を並べて繁榮を呈す最繁華街である。寫眞は同街の殷盛で・手前に建つのが丸商百貨店である。



美しい冬景色

北滿の大都哈爾濱の街に冬が訪れると街は一樣に美しい白銀の衣をまとつて目覺めるやうな銀世界をこゝに現出する。寫眞は大直街のその美しい冬景色である。

地段街

地段街は賣買街・石頭道街とともに日本人の一番多く居住してゐるところである。街は整然として・大商舖街甍を接して並び建ち益々繁榮の色が濃い。繪は明粧を凝らして建てるマツヤ百貨店。

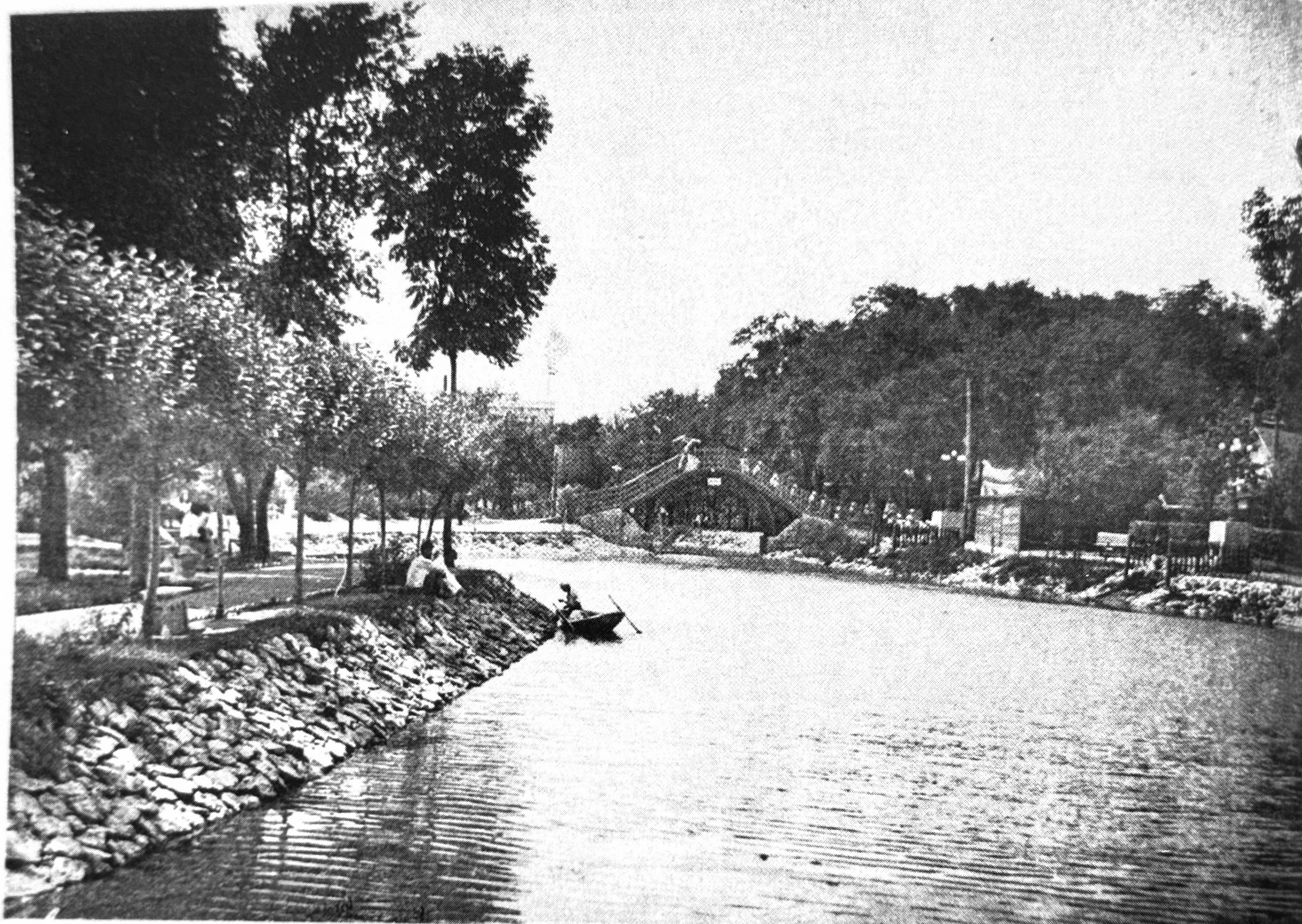




(10)

埠頭區は哈爾濱における最も繁華な商業地である。區のほゞ中央を眞つ直ぐに松花江に向つて貫いてゐる道路が有名なキタイスカヤ街で、街には大商舗・大建築が肩を並べて櫛比し、いかにも大都會の風格をこゝに示す。

キタイスカヤ街



緑樹涼しく水美しく．風致絶佳をもつて知らるるは埠頭區公園である。園内は風致のみでなく．すべての設備も完全に整つてゐて市民の唯一の樂園として喜ばれてゐる。

埠頭區公園



日本赤十字病院

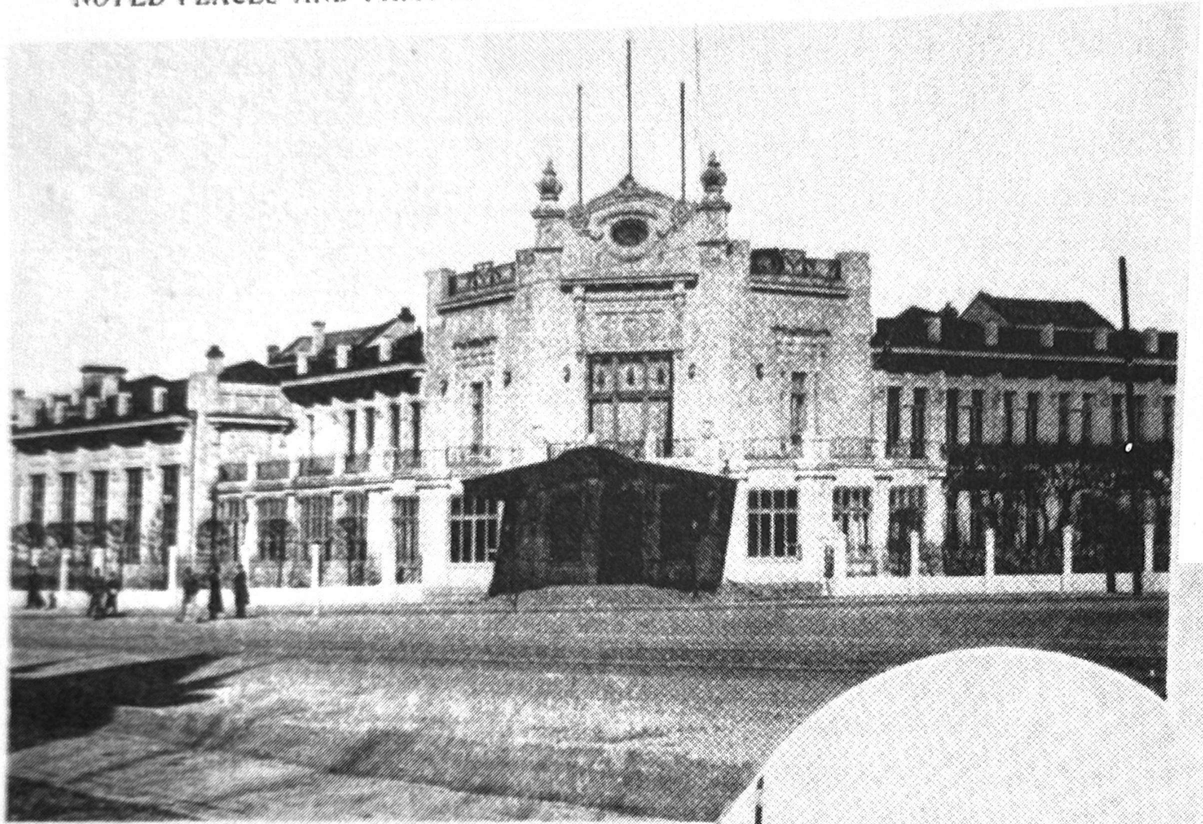
哈爾濱日本赤十字病院は（埠頭區）地段街に建つてゐる。近代建築堂々たる眼を瞠らせる程の大建物で，その內容に於ても病院としての設備はより以上に充實完備してをり，內容外觀ともに眞に豪華なものである。



モストワヤ街

石頭道街

地段街．賣買街の一帶は日本人の一番多く居住してゐるところである。朝鮮銀行．國際運輸支店．商品陳列館等日本人機關は殆んどこのあたりに集中されをり．活氣横溢いよいよ繁榮を極めてゐる。



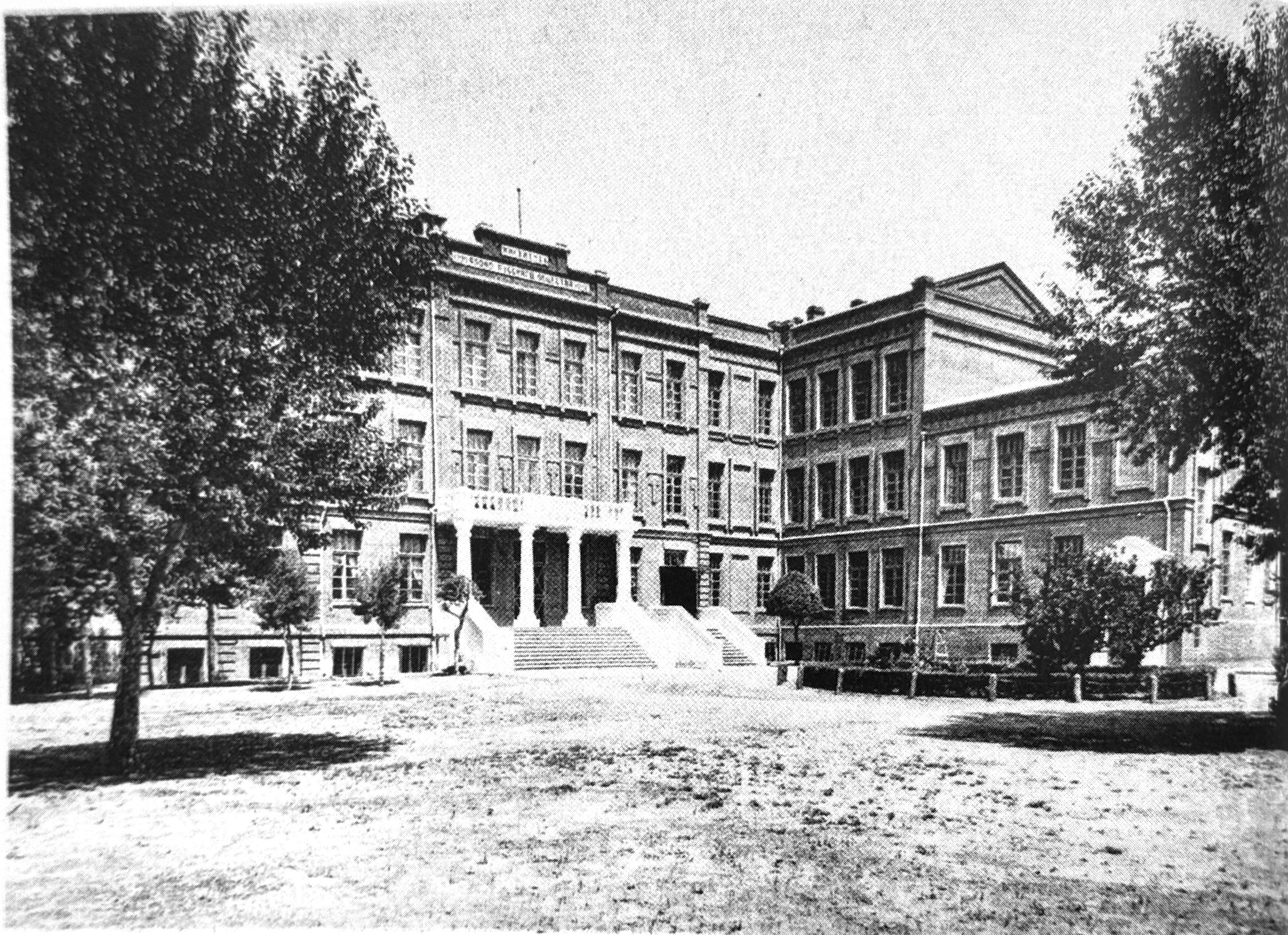
斜紋街

埠頭區斜紋街は、大都市計劃とともにこゝに整然たる宏壯な街區を形成するに至つた。輪は同街大廣場附近の景で、邊りには映画館等もあり繁華を極めてゐる。



大和ホテル

驛前大通りを車站街と稱してゐる。この街の中央に有名な大和ホテルが建つてゐる。近代建築の粹をこゝに蒐めた實に宏壯な建物で、善美をつくせる大廣間、その他諸施設の完備せることと他に比なく、名實共に哈爾濱随一の旅館である。



國立大學，哈爾濱學院

哈爾濱學院は，馬家溝といふところに建つてゐる。馬家溝といふのは新市街の東南台地で，馬家溝河を隔てゝ新市街に對してゐる。非常に閑靜なところで，かうした學び舍の建つには相應しい。



桃山小學校

桃山小學校は地段街に建つてゐる。近代建築の美しい宏壯な學舍で、窓々から流れる日本語の朗讀の聲は異郷哈爾濱の地に晴々しく流れてゐる。





花園小學校もまた哈爾濱學院と同じく馬家溝に建てられてゐる。この邊りは滿洲事變前後から急激に發展したところで，又女學校は元義州街に開校せられたが，其後哈爾濱の發展とともに，生徒數も急に激增し現校舍へ移轉したものである。

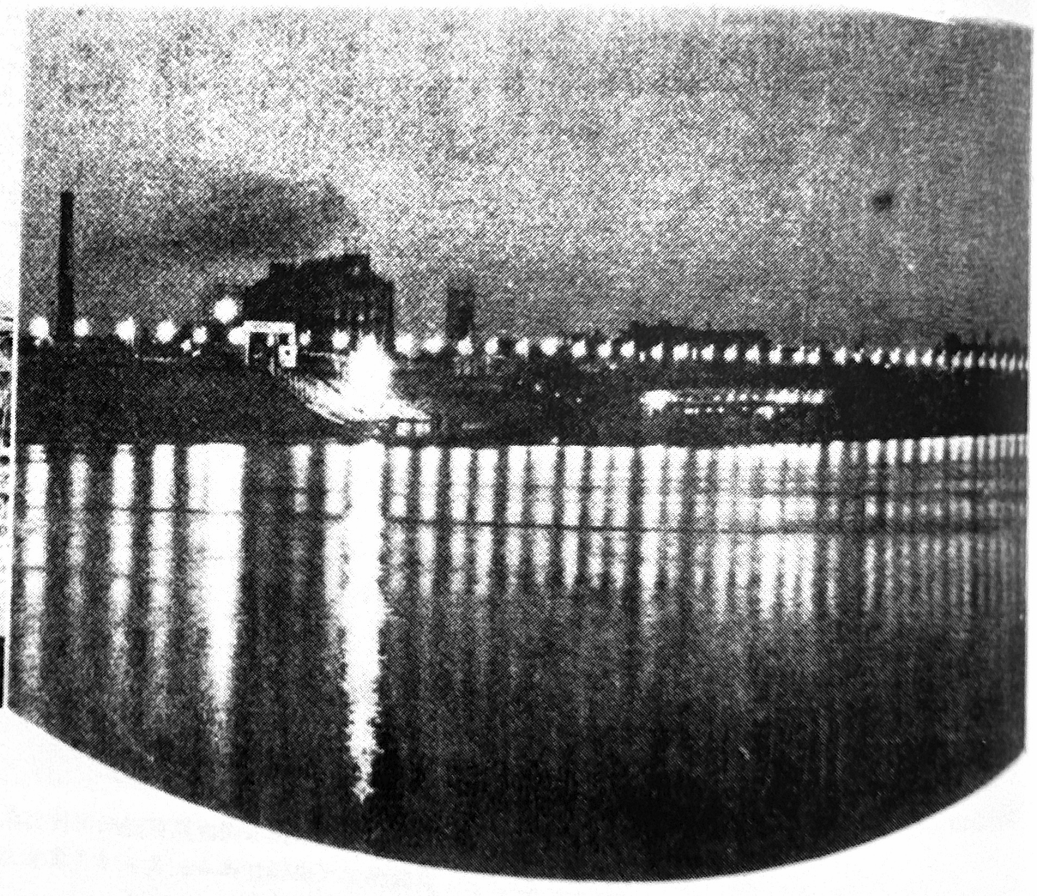
花園小學校



傅家甸正陽街

傅家甸は滿洲人が建設した代表的な市街で・滿洲人の近代文化の最も發達した所
である。市街は稠密する建物に・雜沓する行人に賑々しさの限りで・特に幹線道
路たる正陽街の殷盛は驚くばかりである。





哈爾濱の夜景

哈爾濱は夜の都と言はれてゐるだけに、夜の情緒には捨て難いものがあり、そのネオンに彩られた街の風景にも、また趣き深きものがある。望むはキタイスカヤ船乗場よりヨットクラブ迄の景。

ソフイスキーツエルカ教會

ソフイスキーツエルカ教會は石頭道街にある。中央寺院が北鐵從業員の寄進によつて建てられたものであるに對し、これは亡命露西亜人の零細な浄財によつて建立されたものである。



秋林百貨店は新市街大直街義州街角に建つ。近代建築の壯大なもので・この街の代表的な大商舗である。こゝから東北に通ずる大道を大直街と言ひ・直進すればロシヤ墓地に至る。

秋林百貨店



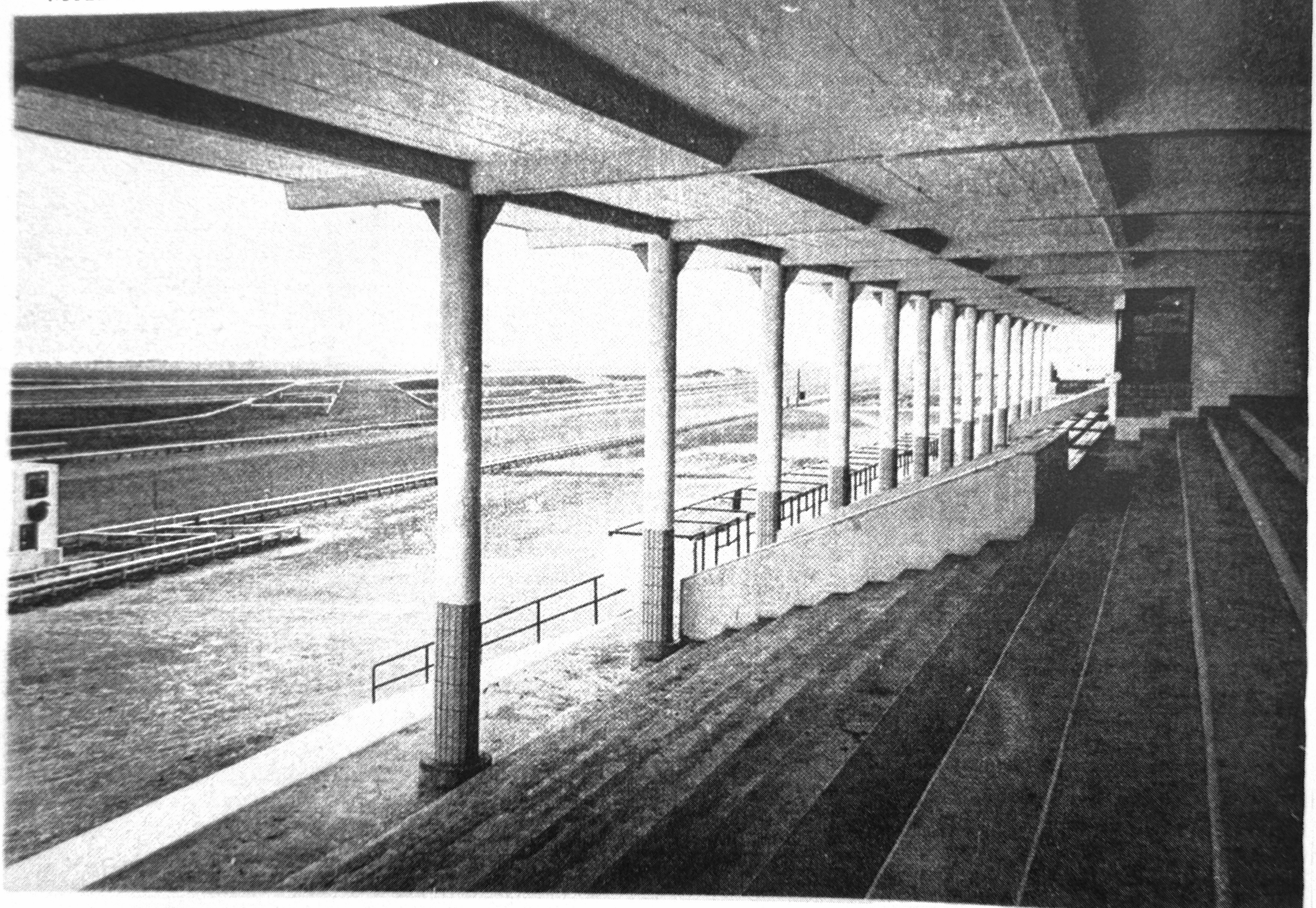
鐵道局

鐵道局は新市街にある。アカシヤの緑樹茂る文化街に，近代建築の粋を凝らして建つ堂々たる鐵道局の風貌は，哈爾濱の都市美に一段の光彩を添へてゐる。



義州街

新市街の義州街は馬家溝に通ずる要路大街で．文化建築街をうづめて建ち．近代的鋪裝の廣い街路には電車．乘合バス．人車．馬車等織るが如く頻繁な動きをなして．大都哈爾濱の發展をこゝに物語つてゐる。



哈爾濱競馬場

哈爾濱競馬場は新市街の郊外に設けられてゐる。規模の大なること驚くばかりの宏大なもので．哈爾濱が最も誇りとするところのものである。其の日のフアンの熱狂が想像される。



文廟

文廟は大聖孔子を祀つたところ．極樂寺の南方數町のところにある。朱大將の後任張煥相が寄附金を集めて建立したもので・その結構善美なる・蓋し，極樂寺と並んで諸建築物中の双璧と言ふべきであらう。



極樂寺

極樂寺は・滿洲の支那寺院中屈指と言はれる寺院で・その建築の壯麗華麗他に比なく哈爾濱における一異彩たるを失はぬ。この寺院は・時の東省特別區長官が・哈爾濱に支那寺院のないを嘆いて建立したものと言はれる。



哈爾濱は滿洲北滿の都で．その氣候も冬は零下四〇度余に及ぶ。さういふ土地で
あるからこゝでは色々と變つた冬の風俗があり．雪中を疾る馬橇もその珍らしい
ものゝ一つである。

雪中の馬橇



露西亜寺院

哈爾濱の市街美を.一層にひきたてゝゐるものに.露西亜寺院がある。露西亜人の生活の中には宗教が根強い力をもつてをり.哈爾濱の地にはさうした彼等の過ぎし日の生活を想ふ帝政露西亜の名残を留めて各種の寺院が建てられてゐる。



サボールの月

或は『サボールの雫』と言ひ、或は『サボールの月』と言ひ、その得も言へぬ風韻は多く詩歌に詠まれるところである。クラシックなその寺院の上に青い月が静かにかゝつて、まことに味ひ盡せない趣がある。



花賣り風景

哈爾濱風景の異色の一つはこの花賣りであらう。色とりどりの、珍らしい花、美しい花を街頭に飾つて、行人の足を停めさせてゐるこの花賣り風景は哈爾濱ならではの感がある。



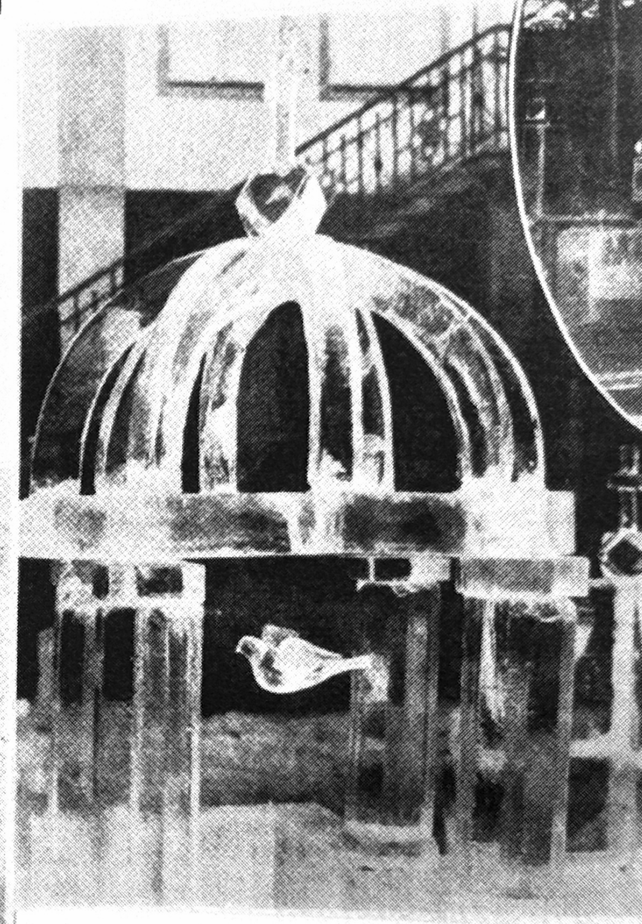
松花江の採氷

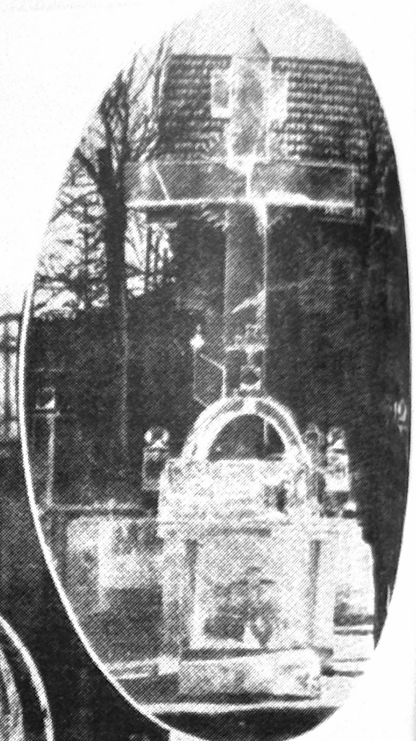
冬の松花江は一面廣大な氷原である。こゝで行はれる採氷作業は、珍しくもまた壮快な冬の一風景だ。



白霜の装ひ

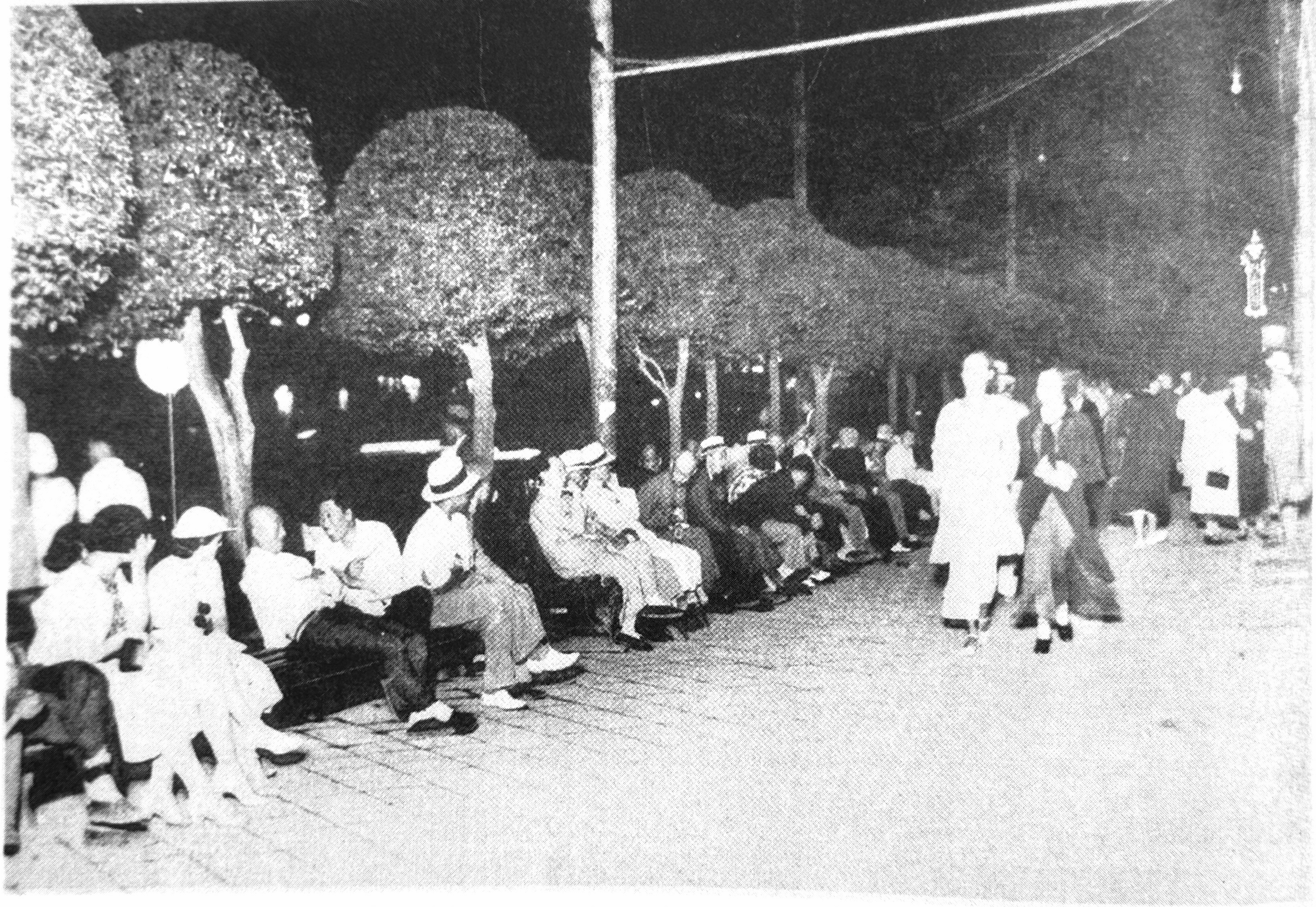
夏の哈爾濱とともに、冬の哈爾濱の風景も珍しい。これは、全市が白霜の装ひを凝らした異風景。





洗禮祭の氷

北滿が極寒の頃．凍結した松花江上に氷の祭壇．氷の十字架を設け・こゝに厳かに洗禮祭が執り行はれる。この儀式は．今日世界で他には見ないところの特異な宗教儀式である。これは當日の氷の造りもの。

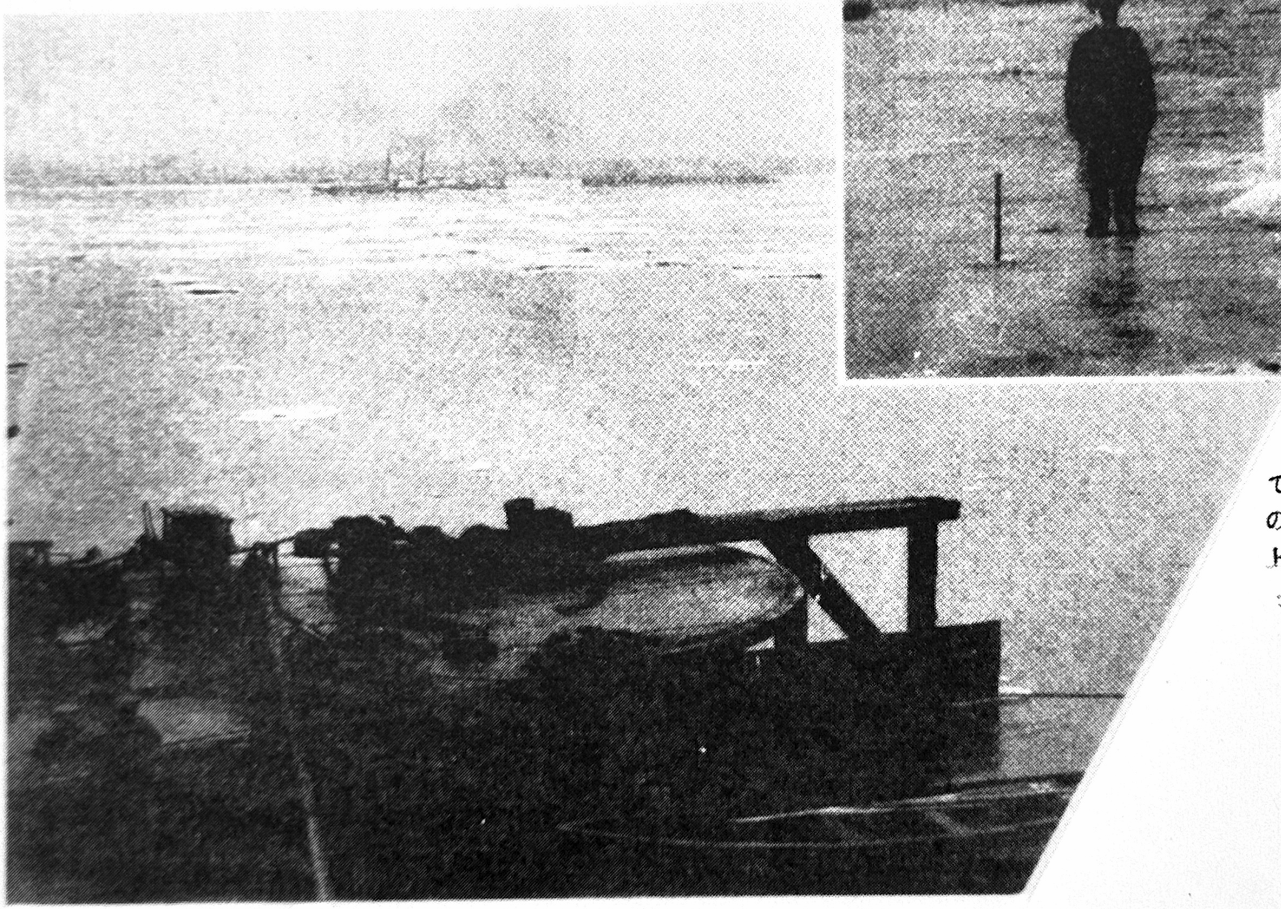


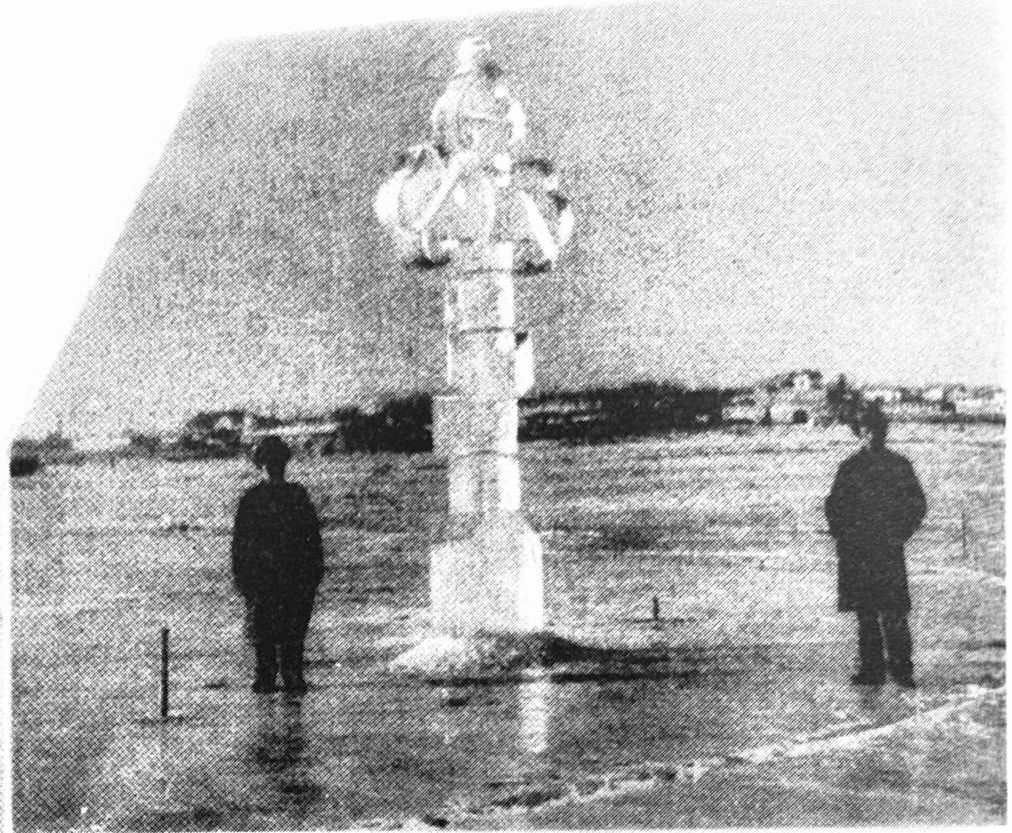
夜の情緒

異國情緒・哈爾濱の眞の味は夜においてはじめて味ふことができる。カッフェーにキャバレーに・漫ろ歩きに・數々の哈爾濱秘話はこの情緒の都の夜から生れる。哈爾濱の夜は實に忘れ得ぬ印象である。

結氷前の流氷

松花江は滿洲の北部及び中部を迂曲して灌漑する大河で、風景佳、夏によく冬によく、水浴に舟遊に、魚釣に眞に行樂の別天地である。北滿に極寒が訪れると、この松花江は一面氷原と化すのであるが、その氷上を或は橇で、或は氷上ヨットで疾驅するのもまた趣があつて面白い。繪は結氷前の松花江。





氷の十字架

松花江上に行はれる洗禮祭は最も特異な儀式である。當日は江上に氷の祭壇・氷の十字架・氷の浴槽等が設けられ・數萬の善男善女が結氷の江上に集まり・こゝに盛大に洗禮の式典が行はれる。寫眞は氷の十字架。



松花江の遊歩園

松花江の風景は夏は夏で・冬は冬で各々異つた趣を見せて・都人をこゝに誘ひ寄せる。沿岸に遊歩園があり・老若男女色々な人の樂しさうな散歩姿を終日見うける。上圖のオペラは白系露人名優の舞台面。





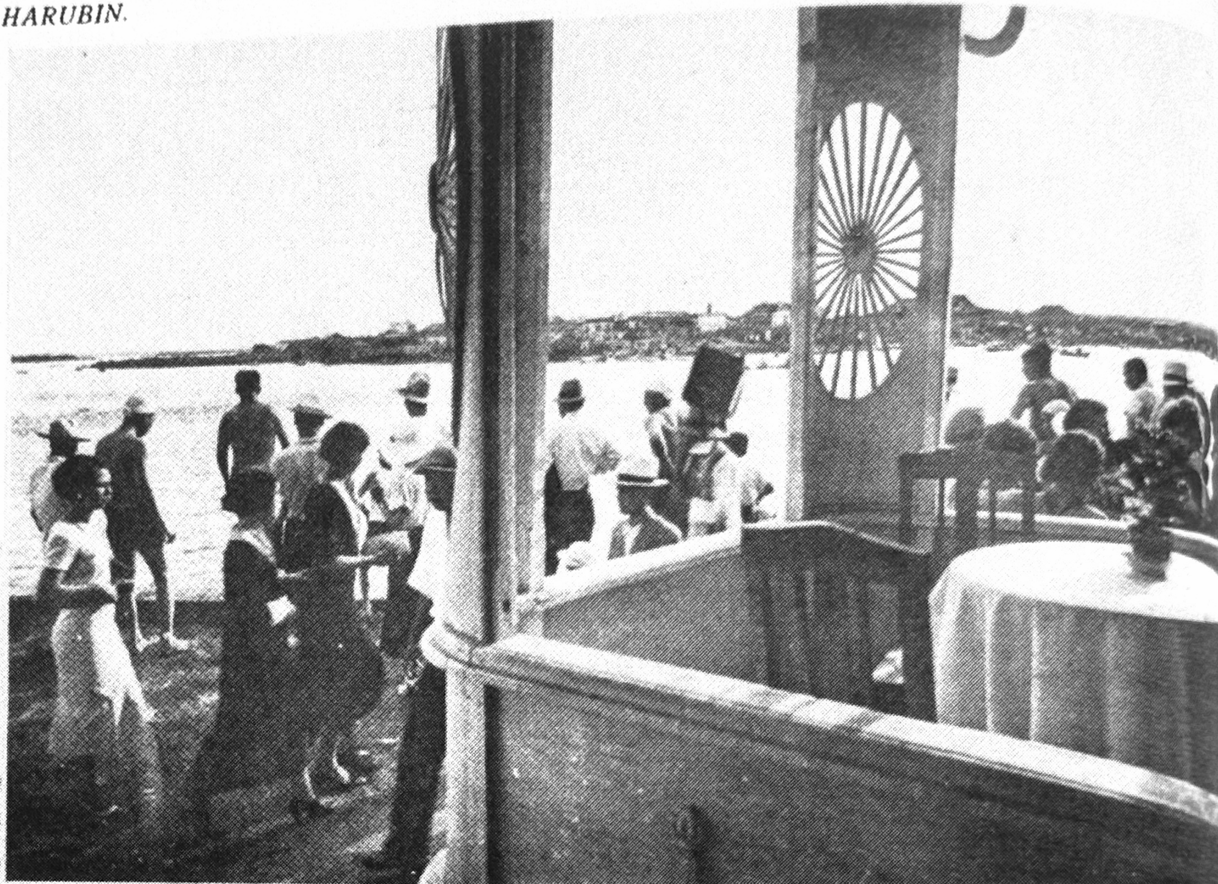
眞夏の陽が太陽島に照りかゝやく。夥しい浴客の群は，彼方此方に一團また一團と樂しい談笑に戯れ合ひ，或はボートに涼を納れ，北滿の夏はかうして終日樂しく暮れてゆくのである。上圖はオペラの名優の劇。

眞夏の太陽島



哈爾濱の夏になくてならぬものは松花江である。夏が來ると、市人は誰れも彼れもが、松花江へ松花江へと吸ひ寄せられて行く。そして、或は江岸に涼を求むるあれば、或は江上にボートを浮べるあり。彼等はかうして夏を樂しく過すのである。

松　花　江

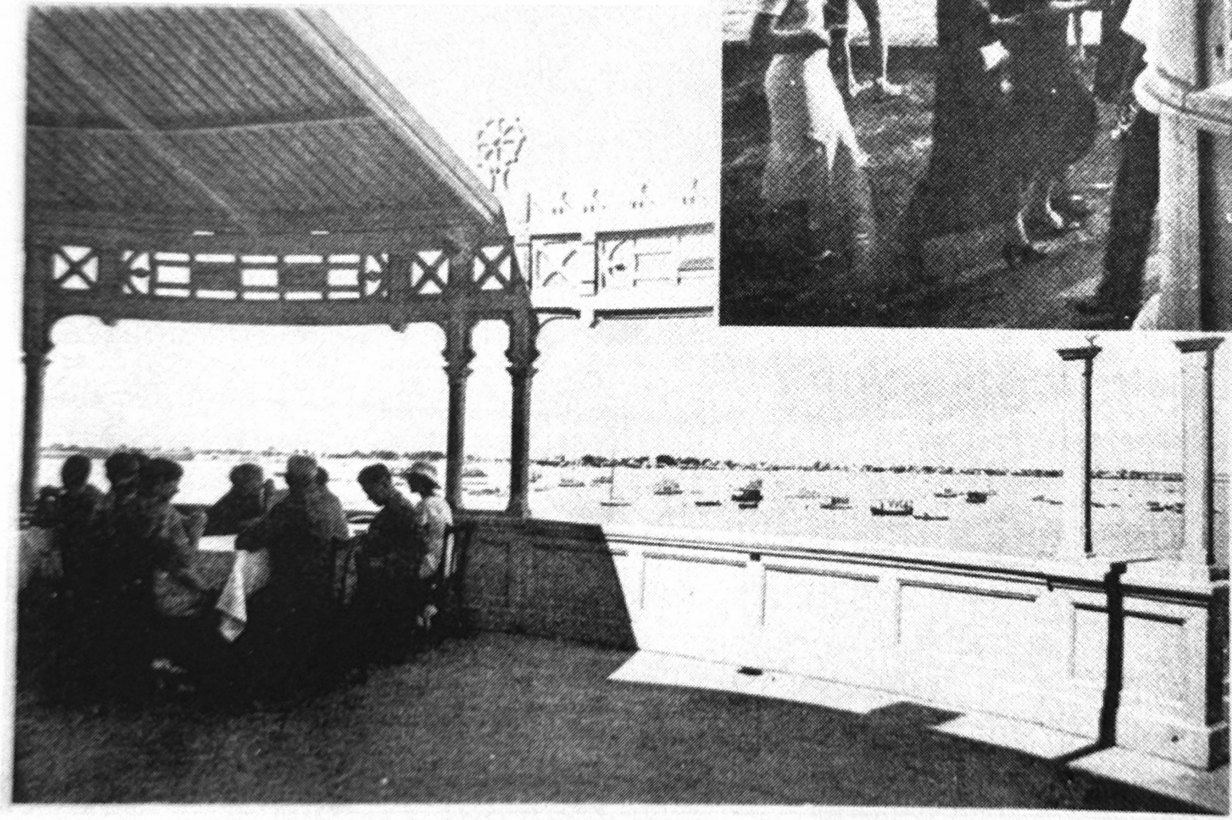


涼をもとめて

涼をもとめて集つた老幼男女の群。
太陽島水泳場の夏の一日。

憩ひ

爽涼清快・夏を忘れる太陽島の憩ひ。



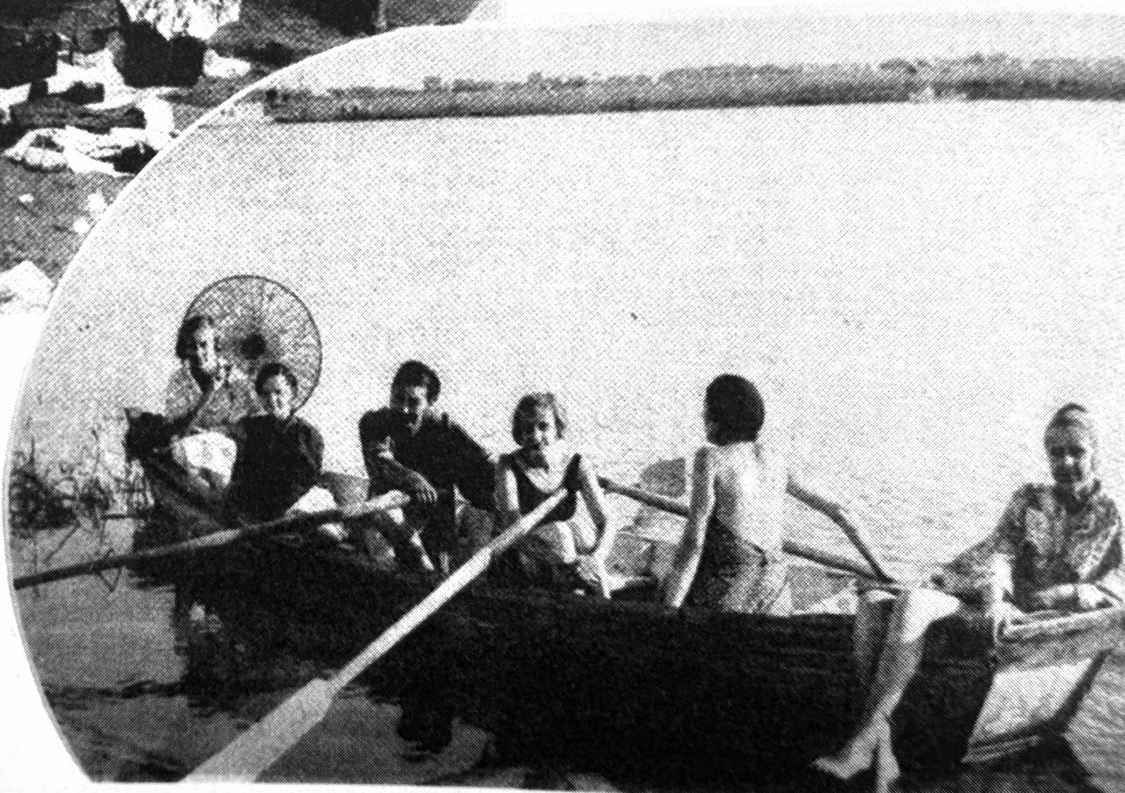


ボートを浮べて

廣い廣い海のやうな江上に、夏の太陽があかあかともえる川風が朗らかに水面を吹く。麗しい乙女達はボートを浮べて嬉々とたのしい。

太陽島水泳場

太陽島へ・太陽島へ——哈爾濱に夏が訪れると・人々はみな太陽島の水泳場へと誘はれていく。浴客に賑ふ同島水泳場の點描である。



不許複製

昭和十四年十一月一日印刷
昭和十四年十一月五日發行

著作兼發行者　藤井金十郎
哈爾濱地段街一五一

印刷者　鵜殿傅
宇治山田市宮後町三八

印刷所　株式會社繪畫印刷工藝社
宇治山田市宮後町三八

發行所　日信洋行
哈爾濱地段街一五一